

2024年度 おかさきこども園・放課後児童クラブ 事業報告

保育を取り巻く環境が「保育の量」から「質の高い保育」の確保が推進される中、人口減少下で持続可能な保育を目標の一つとして掲げられています。湖西市の出生数をみると、2023 年度 307 人、2024 年度 246 人と更に減少していることから、今以上に低年齢児、特に0歳児からの園児確保は厳しい状況が予測されます。

次に、配慮が必要な子どもたちの支援について、どう関わってよいのか、保護者の状況も多様化し、行政の相談支援もないまま、支援を必要とする子どもが増加していました。4年前より保育所等訪問支援として、発達に専門な心理師による訪問がはじまり、実際の子どもの様子をみて保育者のかかわりの相談を行ってきました。当時2歳児クラスの数名が、今年小学校に入学し、支援クラスで落ち着いて過ごす様子をみて、就学につなげられたと思っています。

また、重度の心疾患、障害児手帳1級をもつ2歳児の兄弟の入園に関して、行政、保護者、主治医の専門病院、療育訪問の専門医師等様々な方々と共に入園に際して検討をしてきました。急変時、酸素が必要な場合等課題は多く、行政に相談したところ、医療的ケア児ではない、家庭保育が望ましいことを示唆されただけで、保護者が途方に暮れてしまいました。そのため、子どもの情報を得て、保護者に寄り添い主治医に協力依頼し、できる限りの園の体制を考え、入園まで至ることができました。子どもの成長の過程であります、子どもの関連機関の連携と人との繋がりや支えに感謝いたします。

また職員の新規採用は、養成校から2名と途中人材紹介会社より1名の採用に至りました。ここに理念を職員の声から見直し、職員のモチベーションを高めるため研修体系を構築し、日常的な語り合いで学びを促し、保育者の専門性の向上を目指しました。ここに重点目標に沿って活動報告をいたします。
 <おかさきこども園理念>『ともに寄り添い、一人ひとりの可能性を大切にする』

<在園児数の状況>

2023 年 4 月 0 歳児入園が2名だった為、1・2歳児を多く入園しました。2024 年度は、0歳児の兄弟関係や双子が多く、順調に入園し途中、退園と1号認定への変更があり昨年と比較すると10名の減でした。急激に進む少子化問題、湖西市出生数が、年間300人を割りましたので、園の特徴を見える化し、切れ目のない支援で入園数につなげていきたいと考えます。

【園児数実績】

<人>

2/3号	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5歳児	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25.4
1号	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	3.1
4歳児	25	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3歳児	25	26	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24.8
1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2歳児	18	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
1歳児	14	22	21	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22.6
0歳児	12	6	6	7	9	11	13	14	16	16	16	17	17	12.3
合計	126	138	136	138	141	143	146	147	149	149	148	149	149	145.4
充足率	%	110	108	110	112	113	113	116	117	118	117	117	117	114.7

<職員体制>

新規採用2名の採用がありましたが、途中退職2名分の補足ができませんでした。今後の採用に向けて人材会社に頼らざるを得ない状況です。配置基準上での不足はありませんでしたが、時短勤務の早番遅番の時間帯を職員でカバーしたり、配慮の必要な児についたりする職員が必要だったり、今後、パートや正規職員、保育補助のバランスと職員の子育て状況などを考慮し、見通しをもって職員の確保は引き続き進めていかなければならないと思います。

また休日保育事業については、職員の休日出勤が平日の保育に影響を及ぼし兼ねている事を考慮し職員の気持ちに余裕のある働き方を考えると、人材確保はさらなる必須であると考えます

【休日保育事業】 他の園からの利用3人

<延べ人>

R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5	45	0	42	6	91	39	62	0	46	103	59	498

(昨年度比 -38人)

1. あそびの中から育つ力を大切にし、提案は大歓迎、保育者の「やってみよう」を促す。

乳児・幼児会議をもち、子どもの発達から体幹を作り体を動かすための環境構成をしました。また、五感や指先をつかった玩具を選んで購入しました。子どもの成長や保育の面白さに気づくように実践研究と行事の見直しを行い、職員も主体性をもって保育をすることができました。そして絵本にたくさん触れる環境で、子どもの興味、想像力の育ちを大切にしてきました。実践研究は、聖隷保育学会へ発表につなげています。

配慮の必要な子どもの支援では、小児医療専門の医師が毎月訪問しました。職員の子どもの関わり方等相談をしてアドバイスをもらい、感覚運動の玩具を選んだりする学びにつながりました。

2. コドモン導入による業務改革につなげ、働きやすい職場環境作りに努める。

職員主体となってコドモンの使い方を繰り返し行い、書類等の省略化ができてペーパーレスにつながりました。しかし、子どもの保育計画（短期的な計画）については、ドキュメンテーションの記述だけで終わってしまい、計画立案振り返りするまでに至りませんでした。また自己評価を行い、対話の必要性を感じて、来年度の課題にしています。保育実践にとって子ども一人ひとりの違いを大切にする視点が重要であるように、保育者一人ひとりの違いも認め合いながら互いに学び合える人間関係であることが、実践が活かされ保育の質の向上につながっていきけるのだと思います。

研修では、法人の階層別研修、保育教諭ラダーを実施、キャリアアップ研修の参加をしました。自身の役割を意識して職員の人材育成につなげていけるようにしなければならぬと考えます。

3. 安心安全の園づくり

毎月のヒヤリハットの分析、クラスの事故チェックリストを行い職員会議で検証し、事故の予防対策を共有してきました。またBCP（業務継続計画）を策定したことから、感染症の蔓延や災害時のリスク対応等、有効な対策を考える必要があるといえます。

園庭の遊びにおいて、人工芝を敷く工事をおこないました。今は、安全のぼり滑ったりして遊び込めています。しかし次の子どもの行動が、ダンゴムシを探して人工芝をめくることが楽しむようになり人工芝を固定し直しました。子どもの行動にあわせ柔軟に対応できました。

4. 地域交流活動に取り組み、よりよい環境居場所づくりに努める。

隣接の老人ホーム、地域自治会の交流を行ったり、地域のお祭り等には、鼓隊演奏の参加をしました。また、地域で身近な子育て支援の場所として、子育て支援びよびよクラブの実施を行ってきました。子育て相談や一時保育につながっていききました。5歳児は、小学校交流を実施、架け橋プログラムの一步ができました。そして中学生の職業体験や社協のちょこっとボランティアを積極的に受け入れ、保育職への導きにつながっていけるよう願っています。今後は、特徴が活かされ選ばれるための園の発信をして、入園、就職につなげていけたらと思います。

【おひさま広場・こども食堂】年2回開催

利用人数 大人59人 子ども93人 計152人（昨年度比 -9人）

【びよびよクラブ利用】

＜延べ家庭数＞

R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
数	17	14	19	28	18	25	29	24	36	19	26	20	275

（昨年度比 -79家庭）

【一時預かり事業】

＜延べ人数＞

R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	11	21	28	26	27	25	26	28	21	8	11	5	237

（昨年度比 +139人）

【放課後児童クラブ】

2024年度は、定員を70名として、委託契約2単位、障害児受入強化推進事業の実施に必要な経費を計上活動してきました。コドモン導入により下校等の管理ができたり、お知らせや費用請求等で用紙の配布を省略できました。環境面では、エアコンの洗浄清掃を行い、パーテーションを利用したりして、快適に過ごせる居場所を工夫しました。また1月末に園庭でおにごっこをしていて転倒した子どもがケガをしたため、再度遊び方について見直しました。更に支援員と毎月学童会議を行い、情報の共有をはかり、湖西市と連絡会を通じ連携をはかってきました。今後、保護者の対応を丁寧にして、魅力ある学童保育を目指し、安心安全である子どもたちの居場所づくりと利用者の満足度の向上につなげていきたいと思っています。

【利用数実績】

＜人＞

学年	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1年生	50	20	20	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	23
2年生		15	15	15	15	15	15	15	14	13	13	13	13	14
3年生	20	22	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	19	20
4年生						20								
合計	70	62	61	61	60	80	60	59	57	56	56	56	55	58